

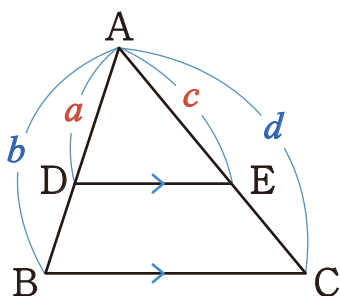
三角形と比の定理の逆

三角形と比の定理については、次のように定理の逆も成り立つ。

三角形と比の定理の逆

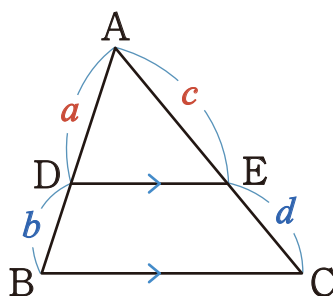
1. $a:b=c:d$ ならば、

$DE \parallel BC$

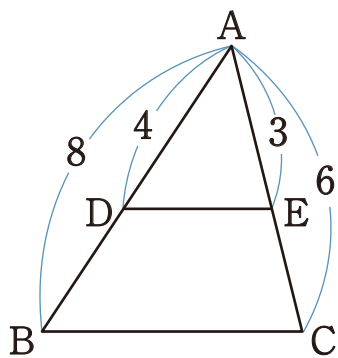


2. $a:b=c:d$ ならば、

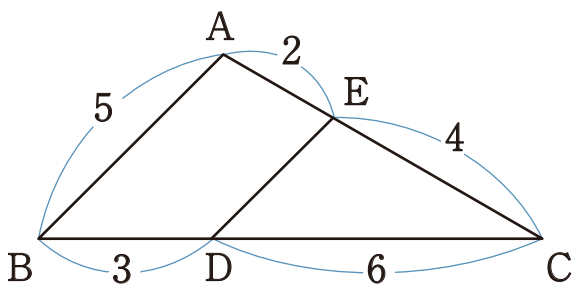
$DE \parallel BC$



1 次の図で $DE \parallel BC$ が成り立つ理由をいいなさい。



2 次の図で $AB \parallel ED$ が成り立つ理由をいいなさい。



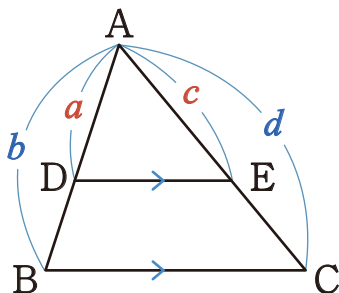
三角形と比の定理の逆

三角形と比の定理については、次のように定理の逆も成り立つ。

三角形と比の定理の逆

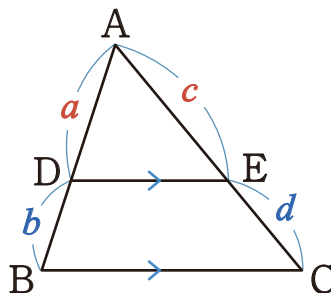
1. $a:b=c:d$ ならば、

$DE \parallel BC$

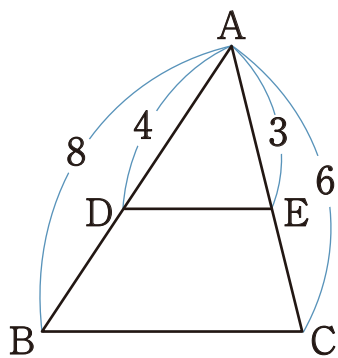


2. $a:b=c:d$ ならば、

$DE \parallel BC$



1 次の図で $DE \parallel BC$ が成り立つ理由をいいなさい。

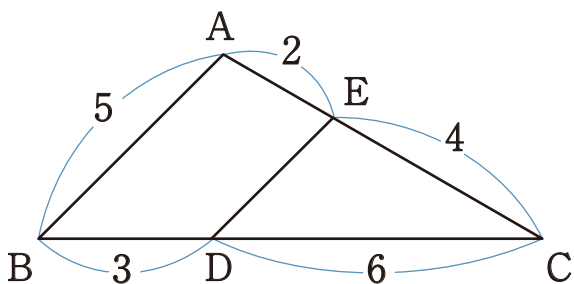


$AD:AB = 4:8 = 1:2 \dots \textcircled{1}$

$AE:AC = 3:6 = 1:2 \dots \textcircled{2}$

$\textcircled{1}, \textcircled{2}$ から $AD:AB = AE:AC$ だから、
 $DE \parallel BC$

2 次の図で $AB \parallel ED$ が成り立つ理由をいいなさい。



$CD:DB = 6:3 = 2:1 \dots \textcircled{1}$

$CE:EA = 4:2 = 2:1 \dots \textcircled{2}$

$\textcircled{1}, \textcircled{2}$ から $CD:DB = CE:EA$ だから、
 $AB \parallel ED$